

おおつる交流センター便り よろしえ

令和4年5月12日
 大津留まちづくり
 協議会発行
 ☎080-7989-1497

令和4年定例総会を開催 4月24日(日)

各地区自治委員とまちづくり協議会役員の出席により、定例総会を開催しました。令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算等について審議を行い、原案どおり採決されました。今後の取り組みに、更なるご指導、ご協力を宜しくお願いいたします。



OBSS大分放送のSDGs(国連で採択された持続可能な開発目標)活動の一環として、大津留まちづくり協議会が協力をする事になりました。5月1日(日)、種籾蒔き作業と野菜の植え付け作業をOBSSの甲斐蓉子・渡辺敬大 両アナウンサーを始めとした社員と、ご家族様が挑戦されました。この作業の様子については、水曜よる7時から放送の『旬感ー3ch』にて18(水)に予告編が放送予定。ぜひお見逃しなくご視聴下さい。



裏面はマーケットのチラシ↓

お知らせ

22日(日) おおつるマーケット 9時〜13時
 神楽公演 10時〜 *雨天の場合すべて中止

竹の中地区 伊藤 嘉則さん(63歳)・利子さん(64歳)

おおつるの人々④

あきのり 彰記さん(35歳)・由さん(38歳)・丞来くん(4歳)
 たすく 愛知県で生まれ育ち、30年間農協に勤められた嘉則さん。48歳で早期退職され、50歳の時に竹の中に移住されました。農業をしたいと1年ほどかけての土地探しで訪れたのは島根・沖縄・長崎・佐賀・徳島・和歌山・岡山・大分! その中から、縁のない、大津留の竹の中地区に決めたのは「水・空気・景色・人が良かった。明るい雰囲気色々と自分たちにぴったりだ」と思ったからだそうです。

まずはオクラ栽培をしていたが、苺栽培を勧められて教わりながら始め、今年が14年目。「最初は無我夢中だったし、今日までの13年間は色々ありすぎて語れない」と笑う利子さんの笑顔が印象的でした。ご夫婦共に仕事のあとのお酒が一番の楽しみだそうで、この楽しみみの為に田舎にきたようなものだそう。😊
 そして、昨年、娘さん夫婦が移住。自然の中で子育てしたり、自分で作った野菜を食べさせてあげたいと思うようになったのがきっかけだったとのこと。ご両親が移住した時は、自分達も移住するとは思っていなかったが今は、「自然に囲まれて、爽やかな毎日をのびのびと過ごしている。精神的に楽で、仕事も楽しい♪自然と向き合い、生きていくための経験値をつけている実感がある」と話す穏やかなお二人でした。



おおつる マーケット 5月22日(日)

神楽公演
10時～13時



午前9時～午後1時 **※雨天中止**

場所：おおつる交流センター
(由布市庄内町東大津留636)

主催：大津留まちづくり協議会

問合せ：おおつる交流センター

080-7989-1497 (専用電話)

080-3056-8907 (担当：堀)

出店コーナー *出店内容は変わることがあります

- ・おおつる季節の収穫物
- ・もりやま農園 (季節のお野菜)
- ・田辺農園 (イチゴ・イチゴジュース)
- ・コンタファーム (季節のお野菜、苗)
- ・おおつるおいちゃんうどん
- ・畑のレストランひだまり (ピザ)
- ・久美ちゃんの台所 (おこわ 他)
- ・おおつるかしわ飯の会 (かしわ飯)
- ・陽ノ庭パン (米粉シフォンケーキ)
- ・くりいむ畑 (パン各種)
- ・棚田工房 (フライドポテト 他)
- ・ヤクルト (ヤクルト1000 他)
- ・佐藤商店 (お得用こんにゃく色々)
- ・むろおの会 (イチゴビネガー)
- ・JA四恩の杜 (新鮮たまご)
- ・手作り雑貨 (マスク他、雑貨 色々)
- ・おおつるカフェ (HOT・ICE コーヒー)

☆絵本とわらべうたのお話会
午前中 (神楽公演の幕間に)
話し手：【ののはなぽけっと】

☆竹細工ワークショップ
・竹箸、竹の指輪 500円
・竹とんぼ 300円

☆刃物研ぎ【花宮刃物店】
包丁/ハサミ/カマ/くわ
チップソー/ノコギリ目立て
料金 500円～

☆キャンドルすくい
【yuicandle】
一回 500円



※感染症拡大防止の対策を取り開催します。尚、今後の感染状況によっては、中止させて頂く場合があります。ご了承ください。

裏面は「よろーえ」